NIE実践報告

1．タイトル：新聞を活用した生徒の社会化

2．学校名

浜松学芸中学校・高等学校

3．実践者名（代表者名）

柴田　剛（内藤　純一）

4．学年

中学校１年生

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科　46名

6．単元（本時の学習課題）名

アングロアメリカ（アメリカ合衆国ってどんな国？）

7．目標(狙い)

アングロアメリカの自然・産業・人々の生活の様子などを概観する。
本時では，新聞記事を通じて，アメリカ合衆国がどのような国なのか調べ，考える。

8．評価の視点

アメリカ合衆国に関する記事を紙面から探し出し，記事の内容を他者に分かりやすく伝えたり，他者の説明を考える材料として活用することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

『アングロアメリカ』全7時間中の３時間目

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①「楽しい地図ワーク」を用いて，アングロアメリカ全体の地形や都市の位置などを概観する。（１時間）
②新聞記事を通じて，アメリカ合衆国がどのような国なのか調べ，考える。（３時間）
　＊家にある新聞で見つけたアメリカ合衆国に関する記事を持ち寄り，内容を説明し合う。
　＊教師から配布された新聞でアメリカ合衆国に関する記事を見つけ出し，内容を説明し合う。（本時）
　＊新聞記事から得られた情報をもとに，アメリカ合衆国がどのような国なのか考え，まとめる。
③アングロアメリカに属する他の国や地域について調べ，その特徴をつかむ。（２時間）
④アングロアメリカ諸国と日本とのつながりについて調べ，今後の課題をまとめる。（１時間）
（留意点）
・生徒が選ぶ記事が個々の興味・関心や時節の状況を反映したものに偏ることを想定し，いくつかのジャンルからアメリカらしい内容の記事を教師の手持ち資料として準備しておく。
・生徒の発表を記事の内容に応じて類別し，アメリカの特徴を大きくつかめるように板書を工夫する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

＊アメリカのことが，国の大きさやスポーツ以外のことについてもわかって勉強になった。
＊日本の新聞にアメリカのことが意外とたくさん書いてあることを知り，少し驚いた。
＊アメリカと日本とはいろいろな面で結びついていたり，大きくちがっていたりすることがわかった。

12．成果と課題

今回の授業は，教師サイドで意図的に取り上げた記事を使うのではなく，生徒がそれぞれに記事を選び，その記事を使ってまとめていくところに難しさがあった。しかし，生徒たちは集中して新聞記事と向き合い，自分の選んだ記事を材料として学習活動を進めていくことができていた。スクラップリレー等，日ごろの取り組みの成果の表れだと思われる。総合的な学習の時間や選択等の発展的な学習と比べ，教科の授業に新聞を取り入れることは簡単なことではないが，今後も有効な新聞活用法を研究していきたい。